

令和6年度 第8回下野市教育委員会定例会議事録

日 時 令和6年11月18日（月）午後1時30分～午後5時10分

会 場 下野市役所3階 教育委員会室

出席委員	教 育 長	石 崎 雅也	職務代理者	永 山 伸一
	委 員	石 嶋 和夫	委 員	佐 間 田 香
	委 員	川 田 玲子		

出席職員	教育次長	高山 正勝
	教育総務課長	米井 正和
	学校教育課長	石島 直
	生涯学習文化課長	野口 修一
	文化財課長	伊藤 隆行
	スポーツ振興課長	根本 宣明
	教育総務課課長補佐	厚木 充
	学校教育課指導主事	水本 百合子
	学校教育課指導主事	石崎 真清
	教育総務課主査	篠崎 貴弘
	教育総務課主事	阿部 維麻

公開・非公開の別 公開（一部非公開）

傍 聴 者 0 人

報道機関 0 人

議事録（概要）作成年月日 令和6年12月23日

教育長の報告

- 報告第32号 下野市教育委員会後援名義等の使用及び下野市教育委員会教育長賞の交付の承認について
- 報告第33号 寄附の受入状況について
- 報告第34号 令和6年度とちぎっ子学習状況調査の結果分析について
- 報告第35号 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果分析について
- 報告第36号 令和6年度県新人体育大会の結果について
- 報告第37号 下野市生涯学習情報センターの廃止に向けた取組状況について
- 報告第38号 下野市教育支援委員会の判定結果について（第2回答申）

議 事

議案第30号 下野市立中学校及び義務教育学校における拠点校部活動実施要項について

そ の 他

- (1) 古山小学校学校訪問について
- (2) 令和6年度下野市教職員全体研修会（研究発表会）の開催について
- (3) 令和6年度市民人権講座の開催について

1. 開会

(石崎教育長) ただいまから、令和6年度第8回下野市教育委員会定例会を開会する。

2. 教育長あいさつ

(石崎教育長) 10月19日から本日11月18日までの職務について資料に基づき報告する。

報告内容について、質疑等はあるか。

(永山委員) 本日の「小中一貫に係る市内共通の取組」についての協議は具体的にどのような内容か。

(石崎教育長) 以前から言っていたが、どちらかというと各中学校区に任せてしまっていて、それぞれの取組を紹介するという形式であった。もっと市教育委員会、特に学校教育課が中心となつてこういうことをやりましょう。これが下野市の小中一貫教育といったこと。下から上がってくるのも良いが、これだけは一緒にやりましょうと。例えば成果指標を挙げてもらうことにしたが、市として共通の指標が必要と思う。共通の取組をすることで下野市の子であればこれができる。例として、下野市内はどの学校も小学校低学年時点で同じやり方、時間を使って鉛筆の持ち方を徹底的に指導する。そうすると下野市の小学校を卒業した子は誰もが持ち方がきれいで上手く使えるようになる。あるいはシモツケ体操を作つて小学校陸上記録会のときに準備体操でみんな同じ体操ができる。そうすることでみんな下野市の小学生なのだと一体感を持てる。そういった内容の協議を行った。

(永山委員) 鉛筆の持ち方について、よいと思う。タイピングも加えてはどうか。

(石崎教育長) 承知した。

他、質疑等はあるか。

(佐間田委員) 国分寺小学校の運動会について。雨天延期で3日間に分かれ

て開催されたが、PTAや保護者と話したときに3日間は先生も含めて大変だという話を聞いた。児童も午前には他の学年の見学をしたり、全校競技があったりするなど、3日間縛られたようだ。そういった形だったので、コロナ以前を知っている方は国分寺小学校の校庭で6学年できるのではないかと、隣の国分寺中学校の校庭を借りることもできるのではないかと、という意見があった。

(石崎教育長) コロナ禍の当時、私が国分寺中学校にいた際、国分寺小学校は地区ごとに2分割して開催したことはあった。学校教育課では何か聞いているか。

(石島学校教育課長) 聞いていない。

(佐間田委員) 以前は児童全6学年と保護者で開催していたので、なぜダメなのかと保護者の間で疑問を抱く声があった。開催日が分かれると、2日間以上仕事を休まなくてはならない保護者が出てきてしまう。

(石崎教育長) 学校教育課で学校と相談をしてもらおう。学校の事情もあると思う。

(石島学校教育課長) 承知した。事情を確認する。

(石崎教育長) 他、意見等はあるか。(特になし)

3. 議事録署名人の選任 佐間田委員及び川田委員を指名

4. 前回議事録の承認

(石崎教育長) 前回議事録について、事務局に説明を求める。

(厚木教育総務課課長補佐) 令和6年度第7回教育委員会定例会議事録について、修正があった旨説明を行う。

(石崎教育長) 意見等はあるか。(特になし)

議事録はこのとおり決定とする。

5. 教育長の報告

(石崎教育長) 報告第32号、下野市教育委員会後援名義等の使用及び下野市教育委員会教育長賞の交付の承認について、説明を求める。

(米井教育総務課長) 資料に基づき、新規申請案件について説明を行う。

(石崎教育長) 質疑等はあるか。

(永山委員) 講演は誰が講師になるのか。

(厚木教育総務課課長補佐) 案としてNPO法人キーデザイン代表の土橋優平氏が予定されている。この団体は不登校問題を考える活動をしており、過去の実績としても、こういった不登校に関する講演を行っている方である。

(佐間田委員) 永山委員と同じく講演する人が誰かによるかと思ったが、土橋氏は全国キャラバンなどやっている方で、私も以前話を聞いて

- たことがある。特に問題はないと思われる。
- (石崎教育長) 他、質疑等はあるか。(特になし)
 続いて、報告第33号、寄附の受入状況について、説明を求める。
- (米井教育総務課長) 資料に基づき、寄付の受け入れについて、説明を行う。
 (石崎教育長) 質疑等はあるか。(特になし)
 続いて、報告第34号、令和6年度とちぎっ子学習状況調査の結果分析について、説明を求める。
- (石崎学校教育課指導主事) 資料に基づき、説明を行う。
 (石崎教育長) 質疑等はあるか。
 (永山委員) 県平均と比べ概ね良好ということであったが、先生の感覚として学力は上がっているか。先日の学校訪問の際に、以前は県平均と比べ非常にかけ離れて良かったが、最近は県平均よりは良いが若干伸びに陰りが見えるという趣旨の説明があった。こうやって一つ一つ説明を聞いていくと安心してしまいが、全体として先生方の印象として学力が伸びているのか。
- (石崎学校教育課指導主事) 5年間の傾向などを分析すると、本市の特徴として記述式のところが大きく上回っているという傾向があった。その幅が狭まって少し上回るくらいになってきたと思う。ただし、書くことや記述式のところでいつも力を保っていることは5年間の傾向として共通している部分と思う。
- (永山委員) なぜ質問をするかという、家庭で課題をやることについて、若干問題点が見られるということ。自分で勉強の計画を立てて家庭学習をしていく部分に若干心配があるという説明を聞いたので、それとの関連性を含めてどうなのかと思った。その辺の印象はどうか。
- (石崎学校教育課指導主事) 昨年度は家庭学習について良好な結果が見られたが、今年度は小中学校ともに家庭学習でパーセンテージに少し気になるところが見られた。ただ、各中学校区においては家庭学習強調週間などの取組みを中学校区ごとにしているので、そういった成果が少しずつ現れてくるのではないかと思う。
- (石崎教育長) 他、質疑等はあるか。(特になし)
 続いて、報告第35号、令和6年度全国学力・学習状況調査の結果分析について、説明を求める。
- (石崎学校教育課指導主事) 資料に基づき、説明を行う。
 (石崎教育長) 質疑等はあるか。
 (佐間田委員) この調査については知的や情緒などのクラスの児童も参加しているのか。
- (石崎学校教育課指導主事) 調査に参加することが可能な児童は参加している。学校と家庭とが相談して参加するかしないか検討している。参加していない場合もある。

(石崎教育長)

(永山委員)

他、質疑等はあるか。

発展的な勉強ができる状況かどうか。各学校が工夫しているか。どうしても授業全体になると、進みの遅い子、早い子がいるので両方に配慮するのが難しいと思う。学び直しという部分ではいろいろな工夫ができると思うが、もうちょっと勉強したいという児童生徒の声に何か各学校で工夫していることがあるか。そういったものがこういう結果に出てくると思う。その辺をお聞きしたい。

(石崎学校教育課指導主事)

各学校 I C T 関係の機器を活用しながら、学び合いというところで力を入れている。一つの教科だけでなく、全ての教科を学校全体で取り組んでいるところが多い。特に中学校は教科を横断的にというのが難しいので、学習指導主任の先生を中心に学力向上改善プランに位置付ける際には学校課題を通してそれぞれ各教科におろすという形で設定し取り組んでいる。また、12月から1月ごろに取組みがどうだったかの見直しを行い、学力向上改善レポートを次年度に向けて作成してもらう流れで動いている。各学校で取り組んでいることの進捗状況を確認しながらということが県全体的な傾向として課題となっている。本年度は進捗状況の確認にも力を入れるように学習指導主任の先生をお願いをしているところである。

(石崎教育長)

他、質疑等はあるか。(特になし)

続いて、報告第36号、令和6年度県新人体育大会の結果について、説明を求める。

(石島学校教育課長)

資料に基づき、説明を行う。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。

(佐間田委員)

石橋中学校のテニスと一緒に活動はしているのか。

(石島学校教育課長)

学校での活動はしていない。大会の時に引率の先生が付き添うこともあるが、基本的に学校の名前を使っているのみ。

(石崎教育長)

他、質疑等はあるか。

(石崎教育長)

資料について、準々決勝敗退はベスト8と同じであればベスト8の表記が良いのではないかと。表記は統一した方が良い。

(石島学校教育課長)

承知した。訂正する。

(石崎教育長)

他、質疑等はあるか。(特になし)

続いて、報告第37号、下野市生涯学習情報センターの廃止に向けた取組状況について、説明を求める。

(野口生涯学習文化課長)

資料に基づき、説明を行う。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。

(石崎教育長)

他、質疑等はあるか。(特になし)

ここで諮る。報告第38号下野市教育支援委員会の判定結果について(第2回答申)については、個人情報の含まれる案件

であるため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定により、非公開として進めたいと思うが、よろしいか。(全委員承認)

それでは、報告第38号については非公開として進める。

報告第38号、下野市教育支援委員会の判定結果について(第2回答申)説明を求める。

以下、非公開。

(石崎教育長) ここで非公開を解く。続いて、議事に移る。

6. 議事

(石崎教育長) 議案第30号、下野市立中学校及び義務教育学校における拠点校部活動実施要項について、説明を求める。

(石島学校教育課長) 資料に基づき、説明を行う。

(石崎教育長) 質疑等はあるか。

(永山委員) 県の基準と説明があったが、まとまった資料はあるか。

(石島学校教育課長) 令和5年4月に設定されたものがあり、それを受けて規定を作ったものである。

(永山委員) その資料もぜひ拝見したい。もう一点。この要項は教育委員会で承認されれば成立するということか。

(石島学校教育課長) そのとおり。

(永山委員) そういうことであれば、下野市立中学校及び義務教育学校後期課程に在籍する生徒は在籍校に希望する部活動等が無い場合は市内拠点となる受入校の部活動に参加することができる、といったところから始めないと箇条書き的で読み解きが難しいと思う。市で他に規定があるわけではなく、これが最上位ということか。

(石島学校教育課長) この規定が最上位である。

(永山委員) 誰が何をすることができるというものが最初に来て、それに対して目的がこう、最後はこうという決め方をしていかないと思う。

(石島学校教育課長) 県の実施要項等に準じた形で作った経緯があるので、要項等を配布し説明したい。ご指摘のとおり分かりづらい部分があるということで、最初に実施要項の趣旨の部分が必要であろうということが永山委員のご意見ということでよろしいか。

(永山委員) そのとおりである。誰が何をすることを認めるのかということから始めた方がよい。そのあとに何のためにするのかの目的、誰が、という部分で主体や客体を確定していくという決

め方が分かりやすいと思う。

それと、県の要項がそういう表現をしているのかもしれないが、要項4の実施期間は1年間を基本として継続を拒まないという部分。この辺も曖昧な規定だと思う。

(石島学校教育課長) 要項の文言等について、文書法制所管の総務人事課に確認しながら整えていきたい。

(石崎教育長) 他、質疑等はあるか。

(石嶋委員) 規程に関してだが、目的は持続可能な部活動の実現を図ることだと思うが、一番は在籍する生徒がスポーツや文化活動に親しむことができる機会を確保することが目的ではないか。永山委員の意見のように、その辺の目的が何かというのをもっと分かりやすくした方が良いと思う。

5の拠点校部活動への参加条件で、原則として教員、保護者の引率を必要としない生徒であること、とあるが、家庭に通知した際に保護者は読み取れるのかという不安がある。原則として教員、保護者の引率を必要としない生徒とはどういうことか。

(石島学校教育課長) 簡単に言うと、一人で行動ができる生徒ということになる。

(石嶋委員) その辺が読み取れなかったので分かりやすい表現にした方が良いと思う。

(石崎教育長) 他、質疑等はあるか。

(川田委員) 今の6年生の保護者は部活動が地域クラブ活動移行になりつつあるというのを何年か前から言われていた。部活動をこのままできるのかというところから入っていくことになる。地域移行できなかつたらスポーツができないと思ってクラブチームを決めている子も知り合いにいる。その辺の地域移行との兼ね合いがここには記載ないがその点はどうなのか。

(石島学校教育課長) 部活動の地域クラブ活動への移行との兼ね合いがあることと、今までの区域外就学で部活動をやりたい場合には違う学校に行く選択肢しかなかった、というところがある。それを子どもたちのために選択肢を増やすという大前提である。保護者等への説明に関しては、かなり遅くなっているの、そこはご指摘のとおりと思う。

(石崎教育長) 他、質疑等はあるか。

(佐間田委員) 川田委員の意見と似たようなことを思っていた。先日の南河内第二中学校の学校訪問の際にも、部活動の地域移行についてどうなっているのかという意見が先生からも出た。現場の先生も分かっていない。保護者も分かっていない。保護者としても送迎など聞きたい情報だと思う。先ほどクラブチームの話が出たが、やはり中学校の部活に入る前段階から考えるので、保護者からすると紙一枚で案内されるよりは大変でも説明をしても

raitai. 直接聞きたい内容ではないかと思う。しかし、学校が説明するにも今は学校側も把握できていない状況ではないかと思う。

(永山委員)

これで他の中学校に部活に通えるようになったとしても、その通っている部活動も地域移行の対象部活動になる。その辺が二層構造、三層構造になっているため、こういった文書を出すときに気をつけて出した方がいいと思う。川田委員の意見のように部活動は続くのかと誤解される人がいるかもしれない。部活動に入ったとしても地域移行の対象部活動ではあるので、この文書だけを見たときに分かるようにしておかないといけない。

(石嶋委員)

子どもの数が減ってどんどん部活動の数も減っている上に、地域移行が重なっている。子どもたち自身が自分の部活を3年生まで続けられるかという不安があると思う。そういう不安を解消するためには大切な一手だと思うが、その辺を整理しながら説明しないとダメ。中学校への進学説明会の時など上手く説明して安心感を与えるような説明会にしないと、今皆さんが骨を折っていることが生きてこないのではないかと思う。

(石島学校教育課長)

12月から中学校の新入学児を対象とした説明会があるということと、複数の学校から要望があったということで作成したところである。整理ができていないというのは、教育長に説明した際にも意見をいただいていた。今回いろいろな意見が出るだろうということで、ご意見を聞かせていただいたところである。部活動の地域移行との関係とこれからの部活動のあり方というものも含めて、しっかりとした説明がないと誤解を招いてしまう恐れがあるので、担当ともう一度しっかりと検討したうえで、またお時間をいただきたいと思う。

(永山委員)

南河内第二中学校の学校訪問の際には、すぐにでも教えて欲しいという先生方の意見があった。12月の保護者説明会にという説明であったが間に合うのか。

(石島学校教育課長)

今回指摘いただいた部分をクリアしないと間に合わないと思う。

(石嶋教育長)

他、質疑等はあるか。

(石嶋委員)

この動きは他の市町に広がっていく可能性は大きいのか。

(石島学校教育課長)

説明の中でも触れたが、大田原市と足利市がすでに始めている。どちらの市も子どもの数が減っている点と、特に大田原市は学校規模が非常に小さいということもあり、市全体を挙げて動いている。その趣旨等に合致する市町があればそういった動きは出てくると思う。

(石嶋教育長)

逆に言うと、約2年経つが2市だけである。これを取り入れることによる問題点もあるのではないかと探るように話をしている。指摘していることは全般的に地域移行が遅れていること。

それと説明不足。他の学校や他市が進んでいるらしい。なのに自分のところの動きが見えてこないと私たちは置いていかれてしまったのかとなってしまう。先ほどの話でいうと説明会は市役所で行うのか。

(石島学校教育課長)

その予定である。

(石崎教育長)

学校で行った方が良いのではないか。市役所で何回開催するのか。

(石島学校教育課長)

複数に分けて開催する予定である。

(石崎教育長)

複数回開催するのであれば、なお学校で開催した方がよい。その方が保護者の気持ちが違うし来てもらえるだろう。

(石島学校教育課長)

承知した。

(石崎教育長)

他、質疑等はあるか。

(石島学校教育課長)

用意ができたので、県の参加規程について資料配布する。

(石崎教育長)

教育委員に今現在の進行状況を伝えてはどうか。

(石島学校教育課長)

部活動の地域移行について、12月の段階で石橋中学校卓球部と南河内第二中学校のサッカー部が地域移行という形で週末の練習のクラブ活動を始めたところである。南河内小中学校と国分寺中学校については候補の部活動を挙げて検討を進めており、可能であれば年内中に2校とも実施したいと考えている。加えて、2つ目の部活動ということで、今年度中にさらに候補の部活動を選定し、来年度の4月から開始できるように計画を立てている。

(石崎教育長)

見込みでいいので他には。

(石島学校教育課長)

今検討しているのは国分寺小学校、国分寺東小学校の児童が所属しているソフトボールのクラブチームが県で準優勝したということで、中学校に上がった後もできないかと相談を受けている。そこを地域クラブ活動化できないか検討している。

また、吹奏楽関係については生涯学習文化課等と相談しながら土日のどちらかの練習時に講師等を派遣するなどしてクラブ活動の形をとれないか検討しているところである。

(石崎教育長)

他にはないか。

(石島学校教育課長)

推進計画について今年度中に策定し、委員会に上程できるように進めていきたいと思っている。また、今までになかった部活動として、下野市特有のキンボールを指導者と検討しているところである。

(石崎教育長)

南河内第二中学校、石橋中学校が始まったとなるとまだ始まっていない国分寺中学校と南河内小中学校の保護者が不安になると思うが、ある程度4校とも同じように1校1つずつ始まった。12月には1つはじまり、3月には2つ始まるようにといった流れでどんどん進めている段階である。推進計画についても、約半分の自治体が今年度中に策定すると報道されている。

- 下野市も今年度中に策定するように進めている。この後も逐一新たな動きが出次第、学校教育課より説明していく。
- (佐間田委員) 南河内第二中学校を訪問した際に、付き添いがどうなるのかなど先生自身も不安に思っている意見が出たので、伝えていった方が良い。
- (石崎教育長) 教員の関わり方も決まっているので、学校に必要な情報を伝えていく。そしてその後という流れでどんどん進めて行った方が良いと思う。この件はとても大きな話なので、何かあれば定例会以外にも電話等でも考えをお聞かせ願いたい。
- (石崎教育長) 続いて、その他に移る。

7. その他

- (厚木教育総務課課長補佐)
(石島学校教育課長)
(石崎教育長)
(石島学校教育課長)
- (1) 古山小学校学校訪問について、説明する。
同時開催の出前教育委員会の資料について、説明する。
質疑等はあるか。(特になし)
- (2) 令和6年度下野市教職員全体研修会(研究発表会)の開催について、説明する。
質疑等はあるか。(特になし)
- (石崎教育長)
(野口生涯学習文化課長)
(石崎教育長)
- (3) 令和6年度市民人権講座の開催について、説明する。
質疑等はあるか。(特になし)
他に事務局から連絡事項等はあるか。
- (石島学校教育課長)
(石崎教育長)
(永山委員)
- 前回定例会時に質問のあった不審者侵入対策について説明。
質疑等はあるか。
声掛けがすごく重要だと思う。声掛けをすることで一人一人の先生方全員が当事者になる。先生方も人数がいるので、会った人に声を掛けるということをもっとやれば非常に抑止力になると思う。
- (石崎教育長)
(川田委員)
- 他、質疑等はあるか。
各学校で対応が異なるが、玄関を閉めるが施錠はしないというのは後から登校する児童のために施錠をしないということか。インターホン等での対応で、施錠をした方が良いのではないか。
- (石島学校教育課長)
- インターホンが無い学校もあるので、すべてがその対応をできないという事実がある。基本的に児童が入った後に閉めている学校が多いが、緊急時の対応ということも含めて、あえて施錠をしていない。校内で話し合っただけで施錠をしていないということもある。子どもの安全のための貴重な意見として学校に確認していきたい。

(石崎教育長) 記載をわかりやすくした方が良い。いいところの取組みは他の学校に伝えたり指導する役割もあると思う。項目を書き出して実施している学校は丸を付けるようにすれば指導すべき点のはっきりする。工夫をすると良い資料になると思う。

(石崎教育長) 他、質疑等はあるか。(特になし)
他に事務局から連絡事項等はあるか。

(厚木教育総務課課長補佐) 学校給食センター視察について。説明。

(石崎教育長) 質疑等はあるか。(特になし)
他に事務局から連絡事項等はあるか。

(石島学校教育課長) 学校教育サポートセンターについて。予定では3月に完成。5月中に開始ということで進めている。

(石崎教育長) 質疑等はあるか。(特になし)
他に事務局から連絡事項等はあるか。

教育委員の皆様から連絡事項等はあるか。(特になし)
以上でよろしいか。(全委員承認)

(厚木教育総務課課長補佐) それでは、次回の開催日程について、事務局に説明を求める。
次回の教育委員会定例会は、令和6年12月23日(月曜日)午後1時30分から、教育委員会室で開催を予定している。

8. 閉会

(石崎教育長) 以上をもって、令和6年度第8回教育委員会定例会を閉会する。

(午後5時10分閉会)

議事録作成者

議事録署名人

議事録署名人